

島根県益田市真砂地区

地域づくりのテーマ:「食育」と「福祉」を軸に、地域で子どもを育てる“子育てしやすい”まちづくり



①地区の概要

【地区の現況】(令和6年1月末時点)

- ◆人口:302人(高齢化率:56.0%)/144世帯 ◆自治会:8
- ◆面積:29.72㎡ ◆市内より約15km(車で約20分)

【地区の魅力】

日晩山(標高744m)の伏流水を利用した米や豆腐が特産品。H23年度から公民館・地域商社・小中学校が連携して開始した「食育活動」が実を結び、現在は社会福祉法人も参画し発展。さらに真砂保育園の「里山保育」は地域住民を巻き込んだ小さな福祉活動として定着しており、山間部の小さな地区ながらソーシャルイノベーションの事例として地域づくりの専門家からも注目されている。昨年3月からは統廃合となった中学校跡地に小学校、保育園、診療所、防災拠点がすべて一体となった複合施設(地域活性化交流館)の運営もはじまった。

【地区の課題】

年々深刻となる人口減少、高齢化。交通弱者の方の買い物、通院支援。複合施設の運営がはじまり、手探り状態。小学校・保育園・公民館・診療所としっかりと連携を取りながら一体となって地域の問題解決に向け取り組んでいきたい。

②実施団体の概要

【団体の名称】

地域自治組織 **ときめきの里 真砂**(H28.4.24設立)

【構成団体、構成員】

会長1名、副会長2名、監事2名、事務局長1名、会計1名

- ・支え合い部会 (男性2名、女性5名)
- ・学び合い部会 (男性4名、女性2名)
- ・きずな部会 (男性10名、女性5名)
- ・自主防災団体真砂 (班長5名、事務局1名)

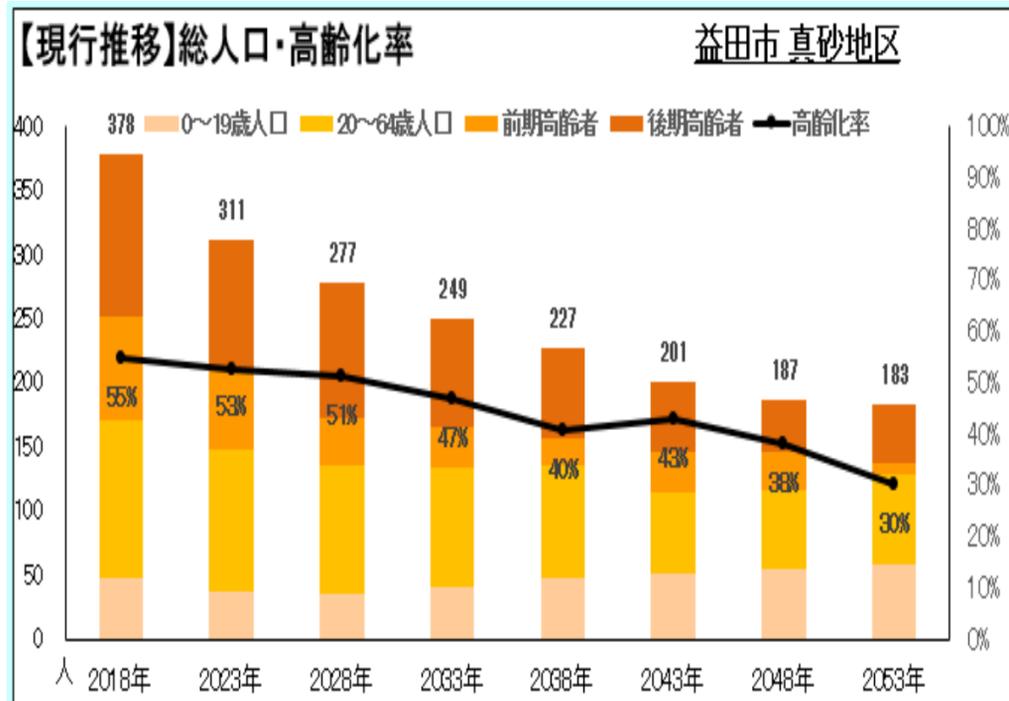
◇他主要活動

- ・ひら山のふもとカフェtele-glue(てれえぐれえ)運営管理

【団体の組織図】



③地区の人口シミュレーション



資料:島根県中山間地域研究センター「人口推計シート」

④地域の魅力化に向けた取組

◆保育所等への給食食材提供《高齢者の生きがいづくり》

高齢者の生きがいづくりと経済力向上を目的に、H23年より地区住民の家庭菜園の“あまり野菜”を市内3ヶ所の保育園や関連する福祉介護施設の給食食材等として集出荷しており、画期的なスモールビジネスとして多数の専門家からも評価を得ている。活動開始当初に公民館教室として実施していた真砂オリジナルの「土づくり」が参加した生産者の中で定着し、安心安全をコンセプトとした真砂野菜ブランドを確立している。

◆ふれあいバスツアー《買い物支援×交流》

交通弱者を対象に、地区内デイサービスの送迎車の空き時間を利活用し、市内大型スーパーで買い物をした後、真砂保育園にて園児と交流するバスツアーを月5回実施している。(※園児との交流は感染症対策として現在も休止中)

◆真砂保育園の里山保育《小さな福祉活動》

“地域全体が園庭・住民全員が保護者”がコンセプトの「里山保育」は、地域の方とのふれあいを通じた多様な学びを大切にされた保育。園児は日々の“さんぽ”で住民と交流を深め、保護される立場だけでなく、高齢者に対しては必然的に見守りかねた小さな福祉活動を行っている。



【団体長メッセージ】

地域活性化交流館(小学校を核とした複合施設)が地域の夢を乗せて4月に船出しました。人口減少や高齢化、子供たちの減少、耕作放棄地の増大など真砂地区にとって明るい話は少なくなりました。そのような厳しい地域情勢の中コロナにより停滞してしまった地域を以前のレベルまで押し上げるためには相当なエネルギーが必要になるかと思えます。そのためには、みんなで話し合い、意見を出し合い、活動に移していくための拠点として当施設を有効活用していきます。ときめきの里真砂は「美しく心優しい里山」を子供たちに引き渡すために住民、諸団体と力を合わせ笑顔と笑い声の絶えない地域を目指し前を向いて歩いていこうと思います。

島根県益田市真砂地区

⑤こんなことが話し合われています



定期総会(5月)

益田市立地域活性化交流館、メディアルームにて実施。
前年度事業報告・決算報告
役員改選
新年度事業計画・収支予算案の承認



視察・研修

- ・宮崎県美郷町
- ・総務省
- ・山口県植生地域交流センター
- ・匹見上
- ・しまコトアカデミー



イベント実行委員会

感染症対策として、さくら祭りは今年度も中止となったが、納涼祭花火大会、運動会、まるごとフェスタのイベントを実施



竣工式世話人会

竣工式と同時に複合施設のお披露目を企画。複合施設を開放し、パネル展示やアイデア募集、教室等で飲食の販売。過去の卒業アルバムをデジタル化し展示、過去の卒業制作を展示

⑥こんな地域づくりを行なっています

きずな部会 多世代交流イベント



支え合い部会 認知症予防カフェ



目的: 目的: 認知症の予防と家族へのケア、及び地域全体での理解促進を目的とし、設立以降毎年継続中。

概要: 年3回、デイサービスひぐらし苑にて開催(送迎付き)。みんなでおしゃべりをしたり、ビンゴゲームで脳を活性化させるなど楽しいひと時を過ごしました。

地域活動拠点

ひら山のふもとカフェtele-glue(てれえぐれえ)



目的: 地域の子どもと大人が様々な活動によりつながることで、子どもたちの思い出づくりと地域への愛着形成を、また大人が活動を通し地域の子どもたちの性質を把握したり様々なことを伝えることで次世代育成を図る。

概要: ①「親子で川遊び」

8月5日(土)子どもたちの夏休み活動の一環として柿原地区で川遊びを実施

②「みんなでラジオ体操」

8月、全5回実施

③「大学生と夏休みの勉強会」

8月18日・21日にボランティアハウスと共催で、真砂出身の大学生数名を講師に迎え、小中学生の夏休みの宿題を教えてもらいながら交流した。

支え合い部会 移動販売



目的: 独居や高齢者世帯の買い物弱者のための支援としてローソン高津店にご協力いただき11月から開始。

概要: 毎週月曜日、可能なかぎりさわやかへるす主催の100歳体操に合わせて実施。Tele-glueやデイサービスひぐらし苑をはじめ、地区内3ヶ所で販売。

目的: 飲食店のない当地区において、住民が気軽に集まり、飲食しながら地区内外の人たちと交流できる場づくり等を目的にH28にオープン。

概要: 調理師免許の資格不要で誰もワンディシェフとして“いちにちカフェ”が営業できる厨房付きレンタルサロン。

定期出店は市内雑貨店企画の月イベント「イツモニ+」で、プロアマ問わず市内外のシェフによるランチ、リラクゼーションの施術や手作りワークショップ等のイベントを開催しており、週に1回市内の指圧院の出張マッサージも行っている。

また週に2日、診療日に合わせてお気軽カフェを開いており、診療の待ち時間やお散歩の合間に地域の方にご利用いただいている。

お問い合わせ先

【ときめきの里 真砂 事務局】

〒698-0041 益田市波田町イ490-1 ひら山のふもとカフェtele-glue横

TEL/FAX 0856-26-0002(真砂公民館内)

HP(真砂+) <http://masagoplus.jp/>

Facebook(真砂+) <https://www.facebook.com/masagoplus/>

